

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書（その1）

計画体系コード		5-3-1		事業名	創世交流拠点整備事業(創世1.1.1区再開発事業)	
担当		市民まちづくり局都市計画部都心まちづくり推進室都心まちづくり課 比内 TEL211-2692				
全 体 計 画						
事業内容	創世交流拠点においては、創成川通アンダーパス連続化事業の施行に伴う地上部の再整備(親水緑地空間の創出)の検討を進める一方、創世1.1.1区において、地権者による再開発の検討が進められている。創世1.1.1区再開発では、多様な機能集積や公共空間の面でこれまでにない新たな価値を創出し、都心の魅力と賑わいを質的にも区域的にも拡大していくことを目的に、新たなまちづくりを先導することを目指している。また、地下鉄東豊線の建設に合わせて一部躯体を整備し、札幌振興公社が所有している西2丁目線地下通路について、北1西1街区再開発検討と併行して活用方策の検討を行い、都市計画決定に向けて基本計画を策定する。 事業年度:平成19年度～平成40年度 事業内容: ・再開発基本計画・推進計画の策定 ・西2丁目地下通路活用検討及び基本計画の策定(約130m) ・北1西1街区再開発事業(約2.4ha) ・大通東1街区再開発事業(約3.5ha)				<年度別の事業内容>	
					H19 創世1.1.1区再開発基本計画策定	
					H20 創世1.1.1区北1西1街区再開発推進計画策定	
					H21 未定	
					H22 未定	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)				平成20年度事業内容(決算)	
	再開発基本計画を策定することで、北1西1街区・大通東1街区について、再開発の事業化に必要な施設建設物についての計画を策定した。				創世1.1.1区の中でも特に検討の熟度の高い北1西1街区について再開発推進計画を策定し、具体的な事業計画や権利調整計画についての検討を行った。また、北1西1街区への重要な動線となる西2丁目地下通路について再開発ビルをはじめとする周辺ビルと連携した整備の方向性について調査・検討を行った。	
	○創世1.1.1区再開発基本計画策定				○創世1.1.1区北1西1街区再開発推進計画策定 ○西2丁目線地下通路施設調査検討	
事業所・規模・件数等	平成21年度事業内容(予算)				平成22年度事業内容(予算)	
	○北1西1街区事業化支援(2定補正予定) これまでの取り組みの結果、再開発準備組合設立予定となっている北1西1街区について、再開発準備組合が行う具体的な施設計画、都市計画決定を行うための事業計画の詳細検討に対して、再開発事業を促進することを目的に計画コーディネートとして補助金を交付する。					
	○北1西1街区再開発準備組合負担金(2定補正予定) 再開発準備組合で実施する予定の事業計画の詳細検討について地権者として負担金を措置する。					
○西2丁目線地下通路施設詳細計画 北1西1街区への重要な動線となる西2丁目線地下通路について、都市計画決定に向け詳細計画を行う。						
○大通東1街区基本計画フォローアップ 平成19年度に北1西1街区と共に再開発基本計画を策定した大通東1街区の事業化を目指し、基本計画フォローアップを実施する。						

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書（その2）

計画体系コード	5-3-1		事業名	創世交流拠点整備事業(創世1.1.1区再開発事業)		
達成目標の状況						
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
創世1.1.1区街づくり指針の策定	検討	検討	検討	策定		策定 (19年度)
北1西1・大通東1再開発基本計画の策定	検討	策定				策定 (19年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
■市民との連携、市民参加 再開発事業の中核となる市民交流複合施設検討に際し、ファールム、パブリックコメント等を通じ、市民や市内の文化芸術活動を行う団体の意見把握を行った。 ■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力] 関係地権者(すべて法人)と協働による市街地再開発の手法により、都心に新たな魅力を創出するまちづくりを目指して検討を進めている。 ■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)						
評 価 (成 果)			課 題			
・北1西1街区については、具体的な事業計画案や権利調整案について検討する再開発推進計画を策定し、事業化の方向性について地権者の合意形成の見通しがたちつつある。 ・北1西1街区への重要な動線となる西2丁目線地下通路について、地下鉄駅から周辺街区へのバリアフリー動線確保など、周辺ビルと連携した有効活用について具体化を図った。 ・以上により市民会館の後継施設である「市民交流複合施設」の建設を目指すなど、都心の魅力と賑わいを質的にも区域的にも拡大し、新たなまちづくりを先導する「創世1.1.1区北1西1街区」の事業化実現に近づいた。			・各街区の事業化に際しては、創世1.1.1区全体のまちづくりの方向性を踏まえつつ検討を進める必要がある。 ・北1西1街区の事業化検討に際しては、各地権者等との合意形成を図りながら、市民交流複合施設(ホール、アートセンター、創造活動センター)の実現を目指す必要がある。 ・大通東1街区の事業化検討に際しては、創世1.1.1区全体のまちづくりの方向性の検討を進める中で、街区単位の一体的なまちづくり実現への気運を高めていく必要がある。			
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向						
北1西1街区では平成21年度に関係地権者により再開発準備組合を設立予定であり、平成23年度の都市計画決定、平成27年度の竣工を目指し検討を進める予定としている。						

(単位:千円)

(単位：円)

計画体系コード	5-3-1		事業名	創世交流拠点整備事業 (創世1.1.1区再開発事業)			
事業費の推移							
項目			19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費		20,000	16,000	0	21,000	57,000
	財源内訳	国・道支出金	5,000	4,000	0	7,000	16,000
		市の債	0	0	0	0	0
		その他の	0	0	0	0	0
		一般財源	15,000	12,000	0	14,000	41,000
予算	事業費		20,000	16,000	11,410	—	47,410
	財源内訳	国・道支出金	5,000	6,000	2,000		13,000
		市の債	0	0	0		0
		その他の	0	0	0		0
		一般財源	15,000	10,000	9,410		34,410
実績	事業費		18,271	18,332	—	—	36,603
	財源内訳	国・道支出金	5,000	6,000			11,000
		市の債	0	0			0
		その他の	0	0			0
		一般財源	13,271	12,332			25,603
事業費の進捗率			(H19実績事業費+H20実績事業費+H21予算事業費) / (計画事業費)				84.2%
計画との差異 (予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
〔全体〕							
〔19年度〕 創世1.1.1区まちづくり指針については、当初19年度末までに策定予定だったが、地権者との協議により、20年度に策定とした。							
〔20年度〕 創世1.1.1区まちづくり指針については、事業化検討の進捗に合わせ、平成21年度に成案化する予定となった。							
〔21年度〕							